



# こうけん 農業、漁業等に貢献する佐賀市の下水道

2022. 10/22 (土)

講師：山口 徳雄 氏  
(柳川水の会 代表、元佐賀市職員・水大賞受賞関係者)

13:30~15:00

会場：東よか干潟ビジターセンター

ひがさす

対象：中学生以上

定員：20名程度

(先着順に受け付けます)

## ～講師プロフィール～

昭和49年4月 佐賀市建設部下水道課採用  
5月 日本下水道センター(現在の下水道事業団)へ研修。  
口径1650ミリメートルの幹線管渠工事、  
中継ポンプ場、下水浄化センター建設工事に携わる。  
昭和53年11月 佐賀市下水道の供用開始。その後は維持管理業務と  
新設機械設備工事を担当。  
鍋島ポンプ場、八戸ポンプ場、八田雨水ポンプ場等。  
平成6年4月 清掃工場施設係。  
平成12年10月 新焼却炉建設室。工事完了まで。  
平成15年4月 総務部管財課  
平成18年4月 建設部用地対策課  
平成19年4月 環境部下水浄化センター  
平成24年4月 上下水道局下水浄化センター 25年3月定年退職

下水道28年(内嘱託2年)、清掃業務12年(内嘱託3年)、  
管材課3年、用地課1年

平成3年から柳川掘割に関する活動に参加、矢部川上下流交流事業に参加、現在まで続く)



## こうけん 地域に貢献する佐賀市下水浄化センター

- ①下水を処理して、綺麗になった処理水は農家がタンクを積載したトラックで直接浄化センターに取りに来られ、農作物栽培に利用。また、ノリ養殖に適した豊かな有明海にも貢献しています。「宝の水」と呼ばれています。
- ②汚泥を処理する過程でメタンガスが発生し、これも発電に利用しています。場内で使用する電気の4割を賄っています。
- ③下水を処理して、最終的に大量の汚泥が発生します。平成21年までは、産業廃棄物として、焼却したり、埋立処分していました。

平成22年10月から堆肥工場が操業。

現在は、堆肥化して肥料にして米、麦、アスパラガス、玉ねぎ、レンコン、イチゴ、みかん栽培等広く農業利用されています。「宝の肥料」と呼ばれています。

※ 新型コロナウイルス感染症等の状況により、内容を変更する場合があります。

■問合せ先・申し込み

東よか干潟ビジターセンター ひがさす  
〒840-2222 佐賀市東与賀町田中2757番地4  
電話:0952-37-0515 FAX:0952-37-0548  
mail:higasasu@city.saga.lg.jp



▲ひがさすHP



▲インスタグラム

参加無料



HIGASASU  
Higashiyoko-Higata VISITOR CENTER

